

2022(令和4)年度

黒潮町の一般会計当初予算は 107億5,000万円です

— 前年度比1.6%(1億8,000万円)の減額となりました —

一般会計の概要

令和4年度当初予算は、黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、「新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とアフターコロナの時代を見据えた経済対策の推進(反転攻勢施策の充実)」「製造業と二次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み」「妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化」「黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築」「自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成」「全ての自然災害に対する『防災・減災』施策の推進」「移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成」「高規格道路の早期完成と関連事業の推進」「カーボンニュートラル社会などSDGs(※1)の展開とDX(※2)活用による『新しい時代』に対応したまちづくりの推進」の9点を重点項目とし、住民ニーズへの確に対応できるように予算の計上を行っています。

黒潮町の令和4年度一般会計当初予算は、前年度比1.6%(1億8千万円)減の107億5千万円となっています。また、11個の特別会計を加えて重複分を除いた純合計は1

41億4千252万7千円で1.1%(1億4千988万9千円)の増となっています。

一般会計の減額の主な要因は、木造住宅耐震改修工事費補助金、町営住宅等整備工事などの普通建設事業費の減少ならびに積立金の調整によるものです。

令和3年度当初予算よりも減額となりましたが、3年連続100億円を超える大型予算になりました。

後年度への財政負担を最小限とするためにも、限られた財源を有効活用し、行政サービスの向上と住民福祉の増進に向けて取り組んでいかなければならないと考えています。

※1 Sustainable Development
ment Goalsの略。2030年までに持続可能でよりよい世界をめざすための国際目標

※2 Digital Transformationの略。デジタル技術によって人々の生活をよりよいものに革新すること

歳入

歳入は、町税7億9千860万8千円(前年度比2.3%増)など自主財源が32億1千314万6千円(構成比29.9%)、地方交付税42億円(前

年度比1.2%増)など、依存財源は75億3千685万4千円(構成比70.1%)を見込んでいます。

町債は9億5千300万円(前年度比30.1%減)で、臨時財政対策債(赤字地方債)6千760万円、過疎対策事業債3億3千790万円、公営住宅建設事業債1億4千960万円、旧合併特例事業債2億1千720万円、などとなっております。令和4年度末の起債残高は112億8千632万7千円となる見込みです。

基金の繰入額は財政調整基金や特目基金など8億8千597万2千円(前年度比20.5%減)を予定しており、令和4年度末の基金残高は42億6千107万1千円の見込みです。

歳出

歳出は、目的別では予算額の多い順に総務費26億5千38万6千円(前年度比4.4%増)、民生費23億4千398万円(前年度比0.5%増)、公債費15億8千405万6千円(前年度比5.6%増)で、上位3部門のみで全体の61.1%となっています。

性質別では、義務的経費が人件費16億8千859万8千円(前年度比1.7%減)、公債費15億8千40

特別会計	住宅新築資金	266万8千円
	宮川奨学資金	1,578万2千円
	情報センター	2億9,059万2千円
	国民健康保険	17億5,866万4千円
	国民健康保険直診	7,377万4千円
	介護保険	17億9,452万2千円
	介護サービス	1,852万1千円
	農業集落排水	7,072万6千円
	漁業集落排水	643万2千円
	後期高齢者医療	2億2,563万7千円
	水道事業	2億6,968万9千円

特定の事業を行う場合にその経費を明確にするために一般会計と区分して設けられた会計です。
黒潮町では一般会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて11の特別会計があります。

特別会計

5万6千円(前年度比5.6%増)、扶助費6億243万7千円(前年度比1.5%増)など38億7千509万1千円(構成比36%)を計画し、投資的経費は普通建設事業16億8千885万3千円(前年度比19.9%減)など17億2千441万8千円(構成比16%)を予算計上しています。

令和4年度 9つの重点項目事業

◆ **新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とアフターコロナの時代を見据えた経済対策の推進(反転攻勢施策の充実)**

コロナワクチン接種事業	3,731万4千円
公共施設の空調設備改修	2,846万5千円
新型コロナウイルス感染症対策事業	1億4,856万2千円
農作物出荷促進事業費補助金	2,120万7千円
中小企業等融資保証料補給・利子補給	1,368万6千円

◆ **妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化**

在宅子育て応援事業補助金	1,835万円
小中学生医療助成事業	1,498万5千円
乳幼児医療助成事業	1,151万6千円
不妊治療補助金	40万円
妊婦一般健康診査費用	353万8千円

◆ **製造業と一次産業を軸とした新産業創造事業の取り組み**

産業振興推進費補助金	2,200万円
園芸用ハウス整備事業	2,904万円
農業次世代人材投資資金「経営開始型」	1,462万5千円
新規就農者育成総合対策事業	2,625万円
農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	2,550万円
新品種・新品目挑戦支援事業	398万6千円
投石魚礁設置事業	1,387万円
新規漁業就業者支援事業	345万円
新漁業等挑戦促進事業	135万円
佐賀地区漁業集落環境整備事業	3,683万8千円
新たな森林管理システム調査事業	796万4千円
松くい虫防除対策	477万3千円
有害鳥獣被害防止対策事業	2,531万1千円

◆ **黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築**

あったかふれあいセンター事業委託	7,000万円
集落活動支援センター活動支援費	1,310万3千円
デジタル化実証支援事業	750万円
第3期地域福祉計画策定委託	166万6千円

◆ **自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成**

学校支援員配置事業(小学校・中学校)	2,444万6千円
ふるさとキャリア教育	163万3千円
外国語教育専門員	294万3千円
検定受験料補助金	43万9千円
ICT支援員配置委託	930万6千円
大方高校魅力化支援	1,680万円

◆ **全ての自然災害に対する『防災・減災』施策の推進**

木造住宅耐震改修事業	9,100万円
ブロック塀対策費補助金	300万円

◆ **カーボンニュートラル社会などSDGsの展開とDX活用による「新しい時代」に対応したまちづくりの推進**

地球温暖化対策実行計画書策定業務委託	894万6千円
自治体オンライン手続きの推進事業に係るシステム改修委託	1,486万9千円

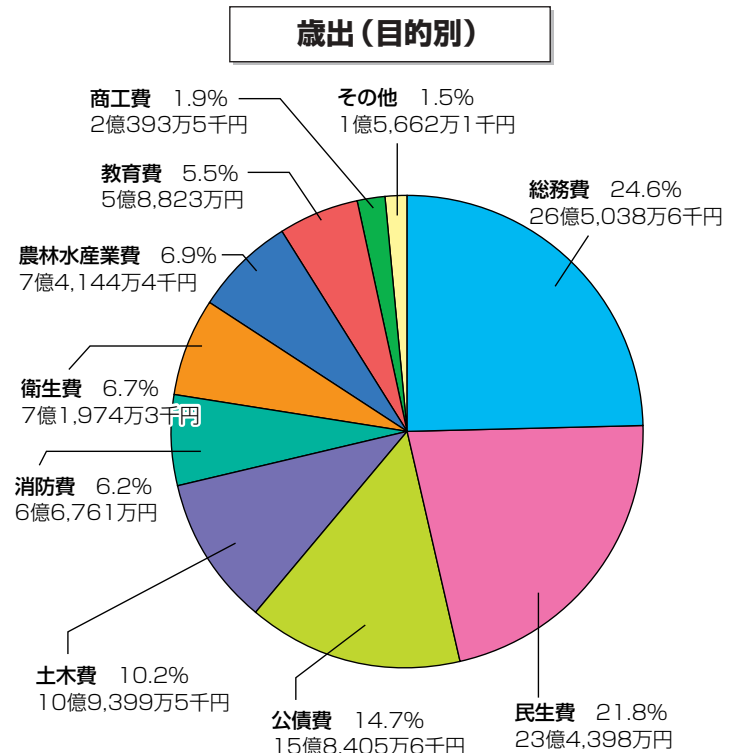
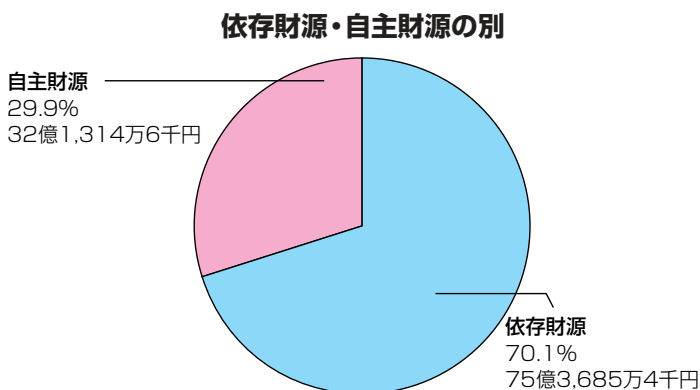
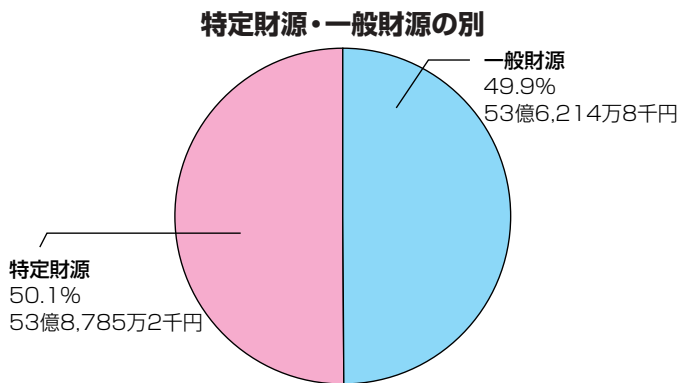
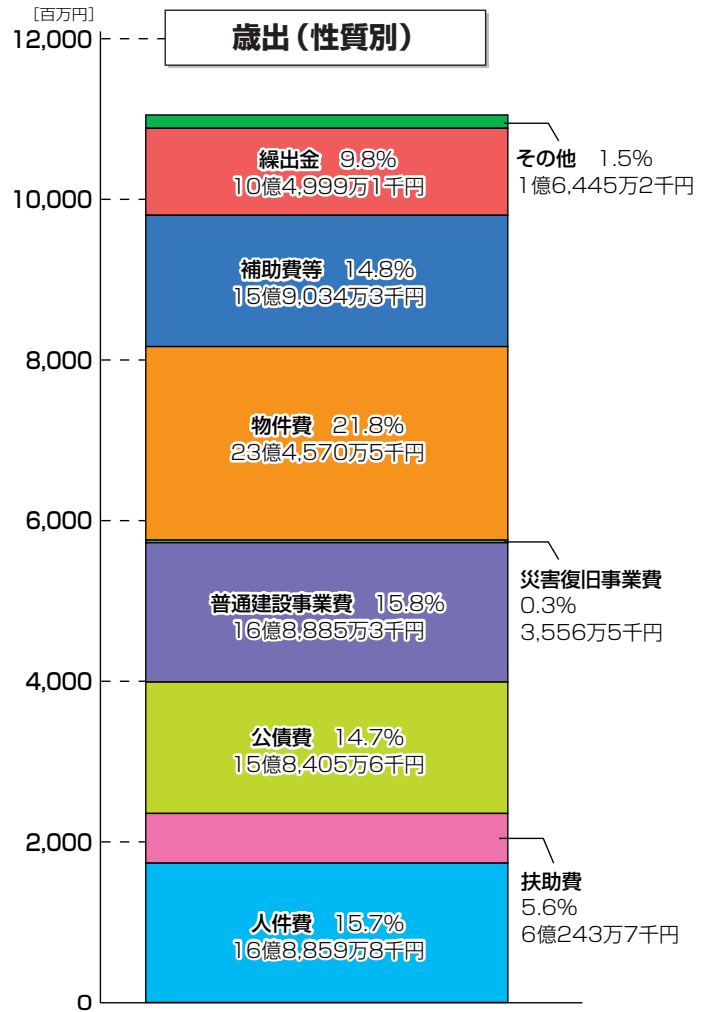
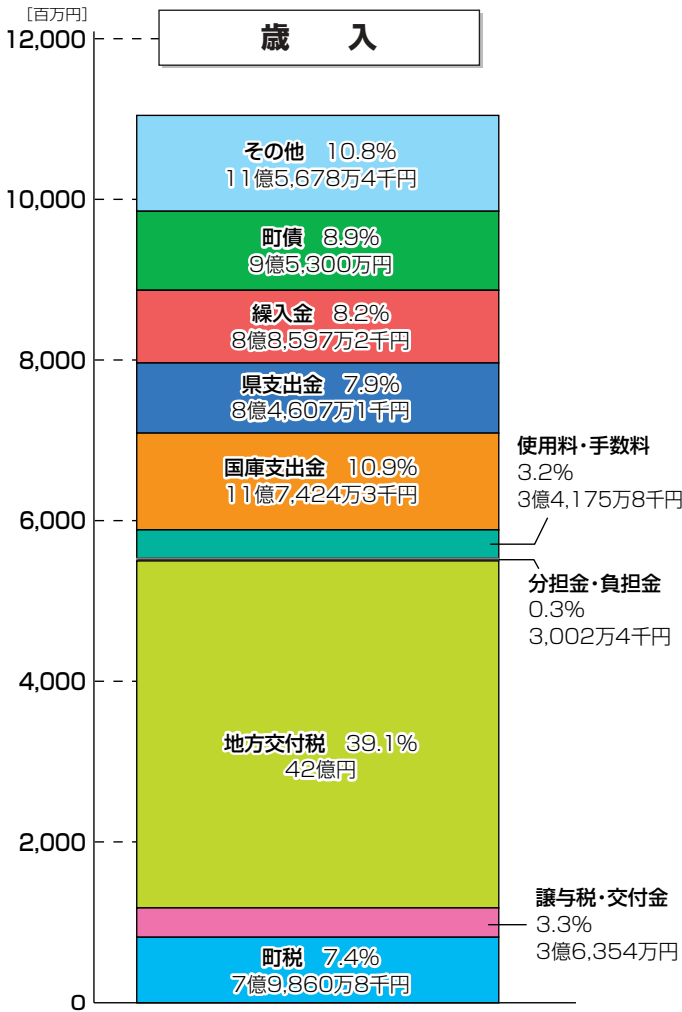
◆ **移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成**

町営住宅整備事業	2億9,024万7千円
定住促進住宅整備事業	1億円
大規模盛土造成二次スクリーニング計画策定業務委託	600万円

◆ **高規格道路の早期完成と関連事業の推進**

高規格道路整備事業	2,679万6千円
-----------	-----------

令和4年度一般会計当初予算の内訳



総務費

250,154円

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務にかかる経費です。



令和4年度当初予算のうち、一般会計において町民1人当たりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口=町民1人当たり…

1,014,631円

※令和3年12月31日現在の人口で算出
(10,595人)



町民1人当たりの
予算の使い道



農林水産業費

69,981円

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



衛生費

67,932円

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



民生費

221,235円

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



消防費

63,012円

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



土木費

103,256円

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



商工費

19,248円

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



その他

14,783円

議会の運営経費や災害復旧費にかかる経費などです。



公債費

149,510円

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



教育費

55,520円

小中学校の運営や人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

